



学校の悩みへ助言

菊池郡市で初 スクールロイヤー(学校弁護士)制度を開始

いじめや不登校、体罰など、学校を取り巻く問題に、法律面から対応を助言する弁護士「スクールロイヤー」を配置しました。7月から月1回、町内の小・中学校8校の相談に応じます。

法律家の専門的な助言を受け、町内の小・中学校がより良い学校運営に取り組めるように定例の相談日を設けました。今後は教職員向けの研修会も実施予定です。

弁護士は、県弁護士会から推薦のあった、熊本市の伊山俊太郎弁護士です。伊山弁護士は、7月21日に開催された初回の相談日を終えて「できるだけ多くの子どもたちや保護者、先生方の笑顔が守られるよう尽力します」と今後の意気込みを語りました。



相談に向き合い、真摯に対応する伊山弁護士

相談者は「学校現場では多様なニーズに向き合う必要がある。中には法的根拠があることで解決できるものもあると思うので、安全・安心の学校経営に役立てていきたい」と話しました。

7/24 ~ 8/2 児童の通学路の安全を点検 通学路交通安全プログラムを実施

警察や県、学校、地域住民、PTAなどの関係機関と連携し、児童・生徒の通学時の安全確保を図るため、通学路の点検を実施しました。

これは毎年実施しており、各学校から報告があった通学路の危険箇所のリストを基に、通学路を点検し、危険解消のために関係機関で協議して対策を進めていくものです。

今年度は71カ所を点検しました。点検後は、結果を公表し、それぞれの関係機関で対策を早急に進めていきます。



白線の薄れた横断歩道を確認する様子

7/26 教職員の資質向上のために 町教職員全員研修会を実施

教職員がより良い教育を実践し、児童・生徒の学力向上を図るため、町内の小・中学校に勤務する教職員約350人を対象に研修会を実施しました。

午前中は、図書館ホールで吉本町長が「新しい菊陽へ 日本一のまちづくり」、二殿教育長が「菊陽の教育がめざすもの」と題して講演しました。午後から行われた各事例発表や実践交流に参加した教職員は「実践交流では、グループで教材研究ができたので、子どもたちの実態に応じて授業をしていきたい」と話しました。



図書館ホールで講演を聴く受講者

安心して笑顔で暮らせる町を目指して

多くの国・地域の異なる文化が共存する中で、お互いの文化を理解し、日本人も外国人も共に笑顔で生活できるような町を目指しています。そのため外国人住民がスムーズに生活をスタートできるよう、町ではさまざまな取り組みを進めています。身近に困っている外国人住民がいたら声をかけ、ぜひ町のサービスを紹介してください。

安心して笑顔で暮らせる町を目指して

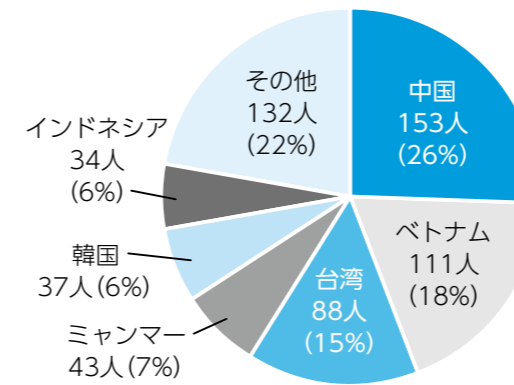
7月31日現在、町には598人の外国人住民が暮らしており、町民全体の約1・3割を占めます。平成26年度末からの約8年間で、約2・5倍に増えており、今後もさらに増えることが予想されます。(グラフ①参照)

国籍別の割合では、中国が26割で一番多く、次いでベトナムが18割、台湾が15割となっており、合計で30の国と地域に及びます。(グラフ②参照)

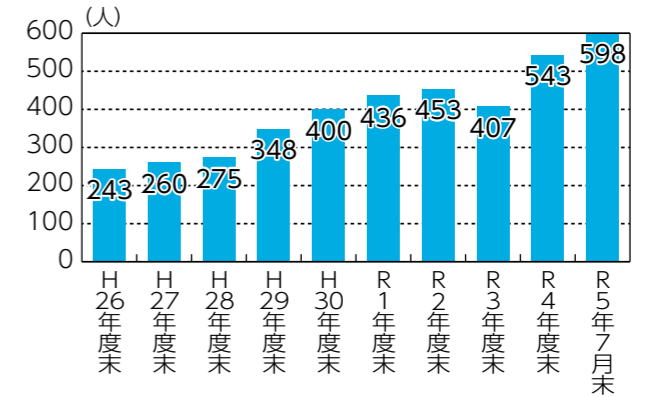
大手企業の進出などを受け、町の外国人住民は増加傾向にあります。今回は、町の現状と取り組みを紹介します。

すべての人が共に笑顔で生きる ー多文化共生社会に向けてー

グラフ② 国籍別人口割合



グラフ① 菊陽町の外国籍人口



町の取り組みを紹介します

多言語通訳サービスを始めました Multilingual translation service was launched. 多言語口譯服務已經開始了

☎ 町民課 町民係 ☎(232)4914

外国人住民の皆さんの日常生活のサポートを行うため、外国人相談窓口に加え、テレビ通訳や電話通訳サービスを始めました。

- ◆日時 (月)~(金) 午前9時~午後5時 (土)(日)(祝、年末年始を除く)
- ◆場所 役場1階 外国人相談窓口または電話通訳

- ◆対象者 町内在住の外国人住民
 - ◆専用電話 070(3271)9036
- お困りのことがあれば、ご連絡ください。 Please contact us at the following number if you have any problems. 若有疑難可利用專線向擔當職員商量。

詳しくはこちらから Scan here for more information. 點擊此處了解詳情



第2回多文化共生連絡会議を開催

☎ 総合政策課 企画政策係 ☎(232)2112

7月31日、第2回多文化共生連絡会議を開催しました。これは、8月からTSMC(JASM)の従業員が台湾から移住する予定で、外国人住民の大幅な増加が予想されることを受け、関係機関と連携して取り組みを進めていくために開催したものです。

会議には、警察署や消防本部、水道企業団、社会福祉協議会、郵便局などに加え、今回から町区長会と、オブザーバーとしてきくよう多文化クラブも参加しました。

町から、今年度から取り組んでいる外国人相談窓口の設置や多言語生活ガイドブックの配布、くらしの日本語教室などについての状況説明などを行いました。参加団体からはさまざまな提案・意見が出され、課題や情報の共有が図られました。



会議には地域生活に密接する関係機関が参加した